

川崎市は『ジェンダー平等』に向けて、 多様な主体と連携した取組を推進します

コロナ禍による女性の経済的困窮の増加などに伴い、女性の負担軽減等に向けた取組の必要性が高まっていることを踏まえ、川崎市は、多様な主体と連携して、SDGs 目標5『ジェンダー平等』に資する取組を推進してまいります。

取組1 「女性の個室トイレにおける生理用ナプキンの無料提供サービス」の開始 (10月4日から幸区役所にてサービス開始)

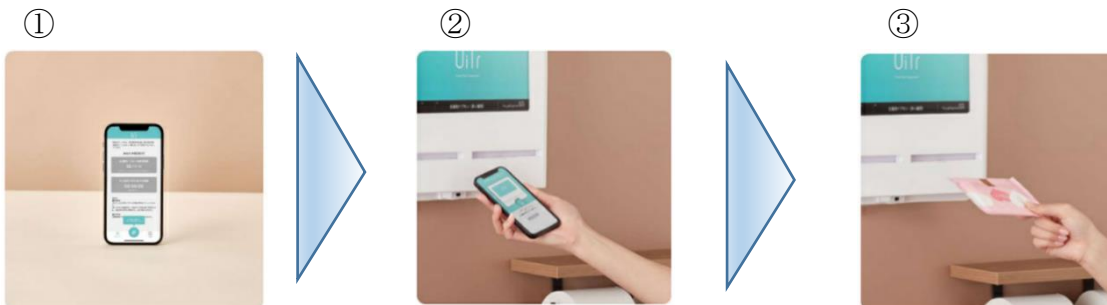
「オイテル株式会社」との連携により、デジタルサイネージ付きディスペンサーを公共施設の女性の個室トイレに設置して、生理用ナプキンを無料で提供します。幸区役所に設置した後、市立看護短期大学、中原図書館などにも順次設置し（合計で25台程度）、効果を検証しながら、設置施設の拡大に向けて調整してまいります。

【参考】 「女性の個室トイレにおける生理用ナプキンの
無料提供サービス OiTr」について
(連携企業概要)

- ・企業名：オイテル株式会社
- ・代表者：代表取締役社長CEO 小村大一
- ・事業内容：ウェルネス事業



～ OiTr ご利用の流れ ～



- ① 利用者は、OiTr アプリ（無料）をダウンロードし、ユーザー登録をする。
 - ② OiTr アプリを起動し、スマートフォンをディスペンサーに近づける。
 - ③ ディスペンサーの取り出し口から生理用ナプキンが無料で出てくるため、利用者の負担なくご利用いただけます。（アプリにより同一人物の2時間以内の連続利用を制御）
- ※ 個室トイレに入ると広告映像が約2分間放映されます。その広告料収入により生理用ナプキン代が賄われます。

取組 2 「フリーダイヤル女性のための電話相談の実施とつながりサポート品(生理用品)の配布」 (男女共同参画センターなどとの連携)

コロナ禍による影響が長期化する中で、孤独・孤立で不安を抱える女性が、社会との絆・つながりを回復できるよう、川崎市男女共同参画センター(すくらむ21)の相談事業を拡充し、区役所、ハローワーク、社会福祉協議会等とも連携して支援につなげてまいります。

【事業概要】

フリーダイヤル「女性のためのコロナ禍での暮らし・しごと 困りごと 電話相談・かわさき」の実施

フリーダイヤルによる電話相談を期間限定で新たに設け、経済的負担を気にせずに相談できる環境を整備します。

(実施予定期間) 令和3年12月3日～令和4年1月30日のうち、

金曜15時～20時及び日曜12時～17時

(祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く)

また、フリーダイヤルによる電話相談の周知と併せて、困難や不安を抱える女性に対して、つながりサポート品(生理用品)の配布を行い、必要な相談窓口の紹介や相談・支援等につなげていきます。

(配布期間) 令和3年10月下旬～

(配布場所) 川崎市男女共同参画センター、各区役所(地域みまもり支援センター)、ハローワーク川崎・ハローワーク川崎北、川崎市社会福祉協議会・各区社会福祉協議会等

- ※ 事業の詳細については、10月下旬に男女共同参画センター及び市のHPでお知らせします。
- ※ 生理用品は、児童生徒向けに市立学校(小・中・特別支援学校)においても活用します。
- ※ この事業は、内閣府の令和3年度地域女性活躍推進交付金「つながりサポート型」を活用して実施します。

上記のフリーダイヤルによる電話相談の他に、川崎市男女共同参画センターで実施している「女性のための総合相談」ハロー・ウイメンズ110番(通話料有料)は通常どおり実施しています。

【問合せ先】

取組1について

川崎市財政局資産管理部資産運用課 吉留 044-200-2084

川崎市総務企画局行政改革マネジメント推進室 林 044-200-3641

取組2について

川崎市市民文化局人権・男女共同参画室 荻田 044-200-2269